

令和3年度第2回環境保全技術セミナー 質問と回答

タイトル	質問	回答
<p>吸着マット・シート（技術レポートNo. 9別冊）の概要について</p>	<p>技術レポート概要のご講演ありがとうございます。 P14吸着マット撤去時の処分方法に留意とありました。一方で吸着材であれば、土壌と一体化することから、将来的な処分も不要との理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>人工吸着材用いた吸着層工法の場合という理解でよろしいでしょうか。 恒久対策の条件等により対応が変わってくると思いますので、一概には言えませんが、いずれにしても、吸着層は重金属等の汚染が生じた状態であり、土対法との関連性が出てくる可能性があるため、所管の環境部局等との協議を行った上で、対応を決める必要があると考えます。</p>
<p>重金属類吸着マット「KAT Beadsマット」</p>	<p>発生し得る可溶性重金属類の総量＜ 敷設 KAT Beadsマットの吸着総容量の関係について 安全率 など 考慮すべき事項はあるのでしょうか？ マニュアルを参照すれば わかりますか？</p>	<p>安全率に関しては実績として最大1.1としたケースが御座います。概ね十分な吸着容量となりますので安全率は現場毎で検討することが多い状況です。</p>
<p>鉄系吸着材を使用した「パデムシート」のご紹介</p>	<p>ご発表ありがとうございました。パデムシートについて質問です。 斜面を模した実験のご紹介がありました。保護マットの上に保護砂を敷くことなく、直接ズリを盛土可能と取りかいてよいのでしょうか？また、平坦面でも直接ズリを盛土可能と理解してよいのでしょうか？</p>	<p>おっしゃる通り斜面、平坦面共に保護マットの上に直接現場ズリを盛土可能です。</p>